



安心で安全な校舎棟改築で —— 児童会館と多目的ホール、まちづくりセン

快適な教育環境の改善を図る ターを併設



はじめに

札幌市が建設を進めている山の手小学校は、札幌市中心部から西北西に約5.2kmに位置し、校区内には三角山の山麓を含む緑豊かな地域で、学校周辺は病院や戸建て・低層の集合住宅が立ち並ぶ住宅街となっている。

施設建設の経緯

山の手小学校は、宮の森小学校、琴似小学校からの分離施設により昭和41年12月に開校した。校舎棟は鉄筋コンクリート造地上3階建てで昭和44年に建設。以降、5回に渡り増改築を行い、屋内運動場は昭和42年に建設し平成9年に改築を行った。

今回の校舎棟の改築は、築40年以上が経過し施設の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を図り、今般の教育・学習に対応した施設整備のため、令和4年10月から建設工事を進めている。

また、学校改築に合わせ、児童会館と多目的ホール、まちづくりセンターも併設する。

建物配置計画

- ①新校舎は、既存校舎とほぼ同じ位置に配置する。
- ②歩車分離のために児童用と給食などのサービス車両用出入口を分ける。
- ③グラウンドは、現状の面積を確保

する。

④児童会館の専用玄関と校舎の昇降口を近接させるほか、庇を設けて利用者が雨や雪に当たらず移動できるように配慮した設計にした。

施設配置計画

- ①職員室は、児童の登下校を確認でき、グラウンドを見渡せるよう玄関ホール付近に配置した。
- ②保健室は、職員室との連携を意識し、同じ階に配置した。
- ③図書室は、学校図書館地域開放事業を実施しやすいように昇降口に隣接させた。
- ④多目的ホールは、児童会館とまち

づくりセンターいずれからもアクセスが可能。また、放課後における児童の動線を考慮し、乗降口から児童

会館に直接アクセスできるようにしている。⑥音楽室（第1、第2）は、準備室を共用とし、大型楽器や資材を保管できるスペースを確保した。⑤教室は、日当たりに配慮し、すべて南西部に配置した。

工事概要	
建設地	札幌市西区山の手5条6丁目1、3、4、5、6
敷地面積	17,864.78㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造 3階建
建築面積	3,473.44㎡
延床面積	7,091.85㎡
工期	令和4年10月3日～令和6年2月22日（予定）
施設概要	
主要室	普通教室：16教室（ワークスペース付）、特別支援学習室3教室（プレイルーム含む）／特別教室：理科室、音楽室（2室）、図工室、家庭科室、図書室、生活科室、特別活動室、教育相談室／管理諸室：校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、放送室、会議室 他、その他：多目的教室（3室＝視聴覚対応・一般・少人数学習対応）、PTA室、給食室、給食配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子・女子・多目的、職員）
児童会館	風除室、玄関、事務室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、クラブ室、図書コーナー、トイレ（男子・女子・多目的）、多目的ホール
まちづくりセンター	事務室、会議室

札幌市 山の手小学校改築ほか工事

●建築主体工事

株式会社 田中組
 札幌市中央区北6条西17丁目17番地の5 ☎ 011-611-3331

●暖房設備工事

恒星設備株式会社
 札幌市東区北20条東22丁目1番1号 ☎ 011-782-0400

●衛生設備工事

株式会社 若杉水道
 札幌市手稲区手稲前田617番地23 ☎ 011-398-3016

●電気設備工事

株式会社 北弘電社
 札幌市中央区北11条西23丁目2番10号 ☎ 011-640-2231